

平成29年2月21日

ボランティアセンター運営委員各位

社会福祉法人  
横浜市鶴見区社会福祉協議会  
事務局長 伊藤 学

### 第3回ボランティアセンター運営委員会の会議報告について

表記会議を開催しましたので、ご報告します。

1. 日 時：平成29年2月6日（月） 10:00～11:10
2. 場 所：鶴見区福祉保健活動拠点 多目的研修室A
3. 出席者：星野副委員長・桑島委員・青木委員・渡辺委員・須佐委員・木村委員  
佐藤委員  
【事務局】伊藤事務局長・中田事務局次長・担当職員（宮川・井上）
4. 内 容：別紙のとおり

【議 事】

1. 善意銀行について

資料1に基づき、事務局より説明。以下の意見を踏まえ、承認を得た。

資料1

社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会  
善意銀行 預託配分状況  
(平成28年10月1日～平成29年1月31日)

1 預託金額	4月～9月		10月～1月		合計		27年度末合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
社会福祉	20	417,000	47	1,306,613	67	1,723,613	105	2,842,501
障害福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
児童福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
寄付小計	20	417,000	47	1,306,613	67	1,723,613	105	2,842,501

2 平成28年度1月末通帳残高

平成27年度末通帳残高	①	18,394,737		0	18,394,737
前年度未払金(ふれあい善意銀行配分金)	②	-2,788,770		0	-2,788,770
平成28年度預託金額	③	417,000		1,306,613	1,723,613
利息	④	200		0	200
預託合計		16,023,167		1,306,613	17,329,780
					(①-②+③+④)
平成28年度1月末善意銀行残高					17,329,780

3 平成28年度配分予定

区社協事業への配分			
鶴見ふれあい善意銀行		2,341,000	
送迎サービス		0	
②申請配分合計		2,341,000	

①収入合計-②申請配分合計=	14,988,780
28年度配分後通帳残高(予定)	

4 平成29年度 配分計画(案)

区社協事業への配分			
鶴見ふれあい善意銀行		3,174,000	
送迎サービス		846,000	
申請配分合計		4,020,000	

平成29年度 年末たすけあい配分金 配分計画(案)	
鶴見ふれあい善意銀行(A区分)	1,000,000

【委員より意見】

善意銀行の寄付が、ここ数年減っている状況が続いている。以前は、700万円程度の寄付課題として掲げているが、今年度も減っている状況が続いている。説明では、過去の預金を切り崩していきながら対応していくとのことであったが、相当危機的な状況ではないか。寄付報告書を作成しながら、PRをしていくとの説明があったが、紙面による周知だけでは、寄付が増えていかないのではないか。企業回りを行うなど、積極的なPR・周知が必要ではないか。

団体の活動を支えていく上で、善意銀行の寄付額が減ることは、団体活動にも影響を及ぼすので、寄付が得られる努力をしてほしい。

2. 平成28年度鶴見ふれあい善意銀行の審査について

新規申請団体(F区分)の立上げ資金についての審査を行い、承認を得た。

【委員より意見】申請団体は、地域の中の拠点となり、コミュニケーションの場となる存在と思われる。人が集まる場所ができることは、地域にとっても意義あるものであるため、期待したい。

3. 平成 29 年度ボランティアセンター事業計画（案）について

資料 3 に基づきに基づき事務局より説明し、了承を得た。ボラセン運営委員会としては、承認され、最終的に理事会に諮ることとする。

資料 3

(1) 平成29年度 区社協事業計画（ボランティアセンター部分）について

ボランティア等 住民活動の推進・支援

相談・調整・登録	<p>専任のボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア相談への対応及びボランティア活動の促進を行います。 関係機関や施設、地域のボランティア団体との連携も踏まえ、ボランティアセンター機能の充実・強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア募集依頼・活動希望者の受付</li> <li>・ボランティア活動・行事保険に関する相談</li> <li>・機材貸出の相談・受付</li> <li>・情報の収集・整理</li> <li>・記録・統計・ケース会議(ボランティアコーディネータ会議)の開催 など</li> </ul>
ボランティア講座、研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの発掘と育成を図るため各種自主・共催講座を実施します。</li> </ul> <p>新規ボランティア獲得のための事業への参加（鶴見川クリーンキャンペーンなど）や既存のボランティアのための講座（ボランティア育成講座）を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度に実施した「ちょこっとボランティア講座」に参加された方が、今後、地域でのボランティア活動につながるよう地区社協や地域ケアプラザと連携を図っていきます。生活支援体制整備事業の充実を図ることも意識しながら、「シニア向けのボランティア講座」を実施します。</li> <li>・28年度に実施した「障がい理解講座」の第2弾を実施します。</li> </ul>
ボランティア・市民活動団体分科会	<p>ボランティア団体同士の連携を高めるため、定期的に分科会を開催します。 なお、分科会の開催にあたっては、効率的かつ運営に主体的な参画を得られるよう、会員とともに内容を検討し実施します。鶴見区あいねっと推進フォーラムにて、「つる★ボラコーナー」を設置し、会員の方々と分科会に加入されている団体の活動周知を行います。</p>
ボランティアセンター運営委員会	<p>ボランティアセンター事業や善銀配分を適正に行うため、年3回程度運営委員会を開催します。 また、より透明性を高めるため、議事録をホームページ上で公開します。</p>
ボランティア情報紙・HPの充実	<p>ボランティア情報紙「つるボラ情報」を年3回発行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内 容：ボランティア募集情報、講座・イベント情報 など</li> <li>・送付先：ボランティア登録者・ケアプラザ等関係機関 など</li> </ul> <p>随時、区社協ホームページにおいて、ボランティア募集やイベントなどを周知して行きます。</p>
食事サービス連絡会	<p>食事サービスに携わる団体の情報交換や研修の支援を行います。 食事サービス連絡会の創造性・独自性の発揮のため、円滑な自主運営に向けての支援をしていきます。</p>
他機関（施設・区民活動センター等）との連携	<p>より地域の実情を反映できるよう、地域ニーズの収集を行い、地域ケアプラザや区民活動センターを中心に多機関との情報交換や連携を図ります。</p>
善意銀行	<p>善意で寄せられる金品の受付業務を行います。配分についてはボランティアセンター運営委員会により適切に行います。 併せて、善意銀行の受入や活用についてチラシの配布や各種イベントでの募金箱の設置を通じて周知に努めます。また、寄付報告書の作成や新しい寄付の形の提案など積極的なPRを行うことで、善意銀行の理解を図り、寄付の確保に努めます。</p>
鶴見ふれあい善意銀行	<p>より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、鶴見区・横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業を行っている団体に対し、助成を行います。また29年度から、新規立上げ事業への助成を拡充します。地域での生活支援活動や集いの場などの活動の支援を行います。</p>

福祉教育の推進

福祉教育相談・調整	<p>地域のボランティア・地域ケアプラザなどと協働し、区内の学校や企業、一般区民の福祉理解の向上をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育相談</li> <li>・講師の紹介</li> <li>・福祉教育連絡会を実施し、地域のボランティアと学校が一体となったプログラム作りを行います。</li> </ul>
学生ボランティアの育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の授業の一環として、ボランティア活動演習授業に協力していきます。</li> <li>・小・中・高校生のボランティア活動の支援を年間を通じて行うとともに、夏休みなどのボランティア強化月間を設け、学校に広く周知します。</li> </ul>
先生のための福祉講座・福祉教育連絡会	<p>市社協・教育委員会主催の講座に、市内18区社協とともに参画します。 学校等に対する区社協の支援・相談体制について周知します。</p>

【委員より意見】 つる★ボラ情報を見るだけではわからないことも多い。ホームページの活用の必要性は高いので、ぜひ充実させてほしい。

4. 平成 29 年度つるみふれあい善意銀行の配分について  
事務局より説明の上、承認を得た。

【事務局より説明】平成 30 年度に大きな見直しを予定しているが、来年度、集いの場づくり・介護予防・生活支援活動・配食活動の充実を図るために上限額を増やしていく方向としている。

5. その他

3 月 4 日開催のあいねっと推進フォーラムについて案内

閉会 鶴見区社協事務局長・伊藤よりあいさつ